

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	17H06172	研究期間	平成29(2017)年度 ～令和3(2021)年度
研究課題名	植物と病原体の攻防における分子機構	研究代表者 (所属・職) (令和2年3月現在)	白須 賢 (理化学研究所・環境資源科学研究センター・グループディレクター)

【令和2(2020)年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
○ A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

(意見等)

本研究では、植物免疫システムとそれを破る病原体の病原システムの分子機構の解明を目指している。

各種病原体のゲノム解析と比較ゲノム解析、それらを基盤としたエフェクター同定の取組は順調に進展しており、当初の目標を超える成果も期待できる。また、植物のリン酸化プロテオーム解析を活用して、植物免疫におけるシグナル伝達系の多様性と普遍性を探求する試みについても新知見が得られており、今後の発展が期待される。

一方で、本研究の中心課題である植物の過酸化水素センサーの同定と機能解析については、応募時点において候補遺伝子が選抜されていたが、いまだ特定には至っていないため、今後の努力が必要である。